

# 青森県 春季高校野球

第1日

春季青森県高校野球選手権は15日、八戸市長根球場などで開幕した。初日は1回戦6試合が行われ、工大二、三本木、三沢商、八学野西、青森商、弘前東が2回戦に進出した。今大会は

新型コロナウイルス感染対策として原則無観客で実施している。第2日の16日は3球場で2回戦8試合が行われ、ベスト8が決まる。(取材班)

## 野西 コールド発進



【八学野西―大湊】8回八学野西1死二、三塁、川原登瑚が右前通時打を放ち、7―2とリードを広げる。八戸東

### ボール球見極め大量点

○…相手の縦投にも惑わされることなく、18安打15得点と打線が爆発した八学野西。5打点の川原登瑚は「持ち味の対応力を発揮できた。ボール球の見極めを徹底したことが大量点につながった」と胸を張った。

序盤は右下手投げの相手先発を攻めあぐねたが、狙うコースをチーム内で決めたことで、徐々に打線にエンジンがかかった。大平新稀主将は「ベルトより高いボールに絞った。うまく攻略できた」と納得の表情を浮かべた。

大平は6打席中5度、出塁し、リードオフマンとし